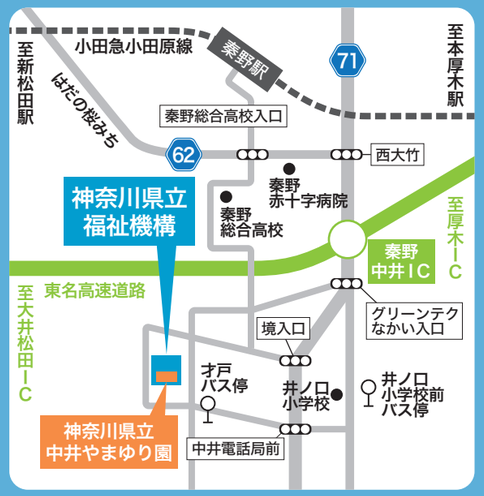
アクセス




県立福祉機構が運営する中井やまゆり園

小田急線「秦野駅」より

中井町役場入口行きバス→「才戸」下車徒歩5分
二宮駅北口行きバス→「井ノ口小学校前」下車徒歩20分

JR「二宮駅」より

秦野駅南口行きバス→「井ノ口小学校前」下車徒歩20分



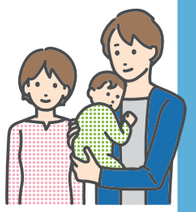
- ▶ 自家用車での通勤も可能！
- ▶ 秦野駅・二宮駅から送迎車を運行！

手当・休暇等について

休暇	年間休日約125日、年次休暇（一年につき20日）、夏季休暇（5日）、療養休暇、慶弔休暇、ほか子育て関連の休暇等、神奈川県職員に準じた休暇制度あり
福利厚生	社会保険（健康保険、厚生年金、雇用保険等）あり。地方職員共済組合団体共済部・地方公務員災害補償基金加入
手当	扶養手当、住居手当、単身赴任手当、通勤手当、時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当、特殊勤務手当（社会福祉施設等業務手当、夜間特殊業務手当）等、神奈川県職員に準じた諸手当あり ※手当は要件を満たした場合に支給されます。

子育て関連制度のご紹介（一部）

出生サポート休暇	不妊治療のための休暇を1年につき原則5日取得できます。
出産休暇	出産予定日の原則8週前から出産後8週目までの期間内に休暇を取得できます。
育児休業	3歳に満たない子を養育する職員は、原則2回まで育児休業を取得できます。これに加えて、主に男性職員を対象とした出生時育児休業（産後パパ育休）の制度もあります（子の出生後８週間以内に２回まで（通算28日以内））。
育児部分休業 子育て部分休暇等	小学校3年生までの子を養育する職員は、1日2時間以内の範囲で取得できます。
子の看護等休暇	中学生までの子を養育する職員は、子の看護等のために休暇を取得できます（子の人数等に応じて、最大10日）。



※令和７年度時点の内容のため、神奈川県の制度や関連法令の改正等により今後変更される可能性があります。

地方独立行政法人について

地方独立行政法人とは？

地方公共団体が直接実施する必要はないものの、民間主体に委ねては実施されないおそれのある事務や事業を効率的・効果的に行うために地方公共団体が設立する法人です。

県や国との関係は？

法人は、総務大臣の認可を受けて、県が設立します。また、法人は、その自主性を生かしながら、県から指示された業務運営の目標（中期目標）に基づいて業務を実施します。運営資金の多くは県から交付されます。

どんなメリットがある？

地方独立行政法人は、地方自治法や地方公務員法が適用されないため、県が直接運営するよりも、柔軟な職員の採用・配置や予算の執行が可能です。

地方独立行政法人
神奈川県立福祉機構
Kanagawa Prefectural Welfare Organization

福祉子どもみらい局 福祉部障害サービス課
〒231-8588　横浜市中区日本大通１
電話 (045)210-4724（直通）
FAX (045)201-2051

※令和8年4月以降の連絡先は 福祉機構　問合せ で検索！

令和8年2月発行



地方独立行政法人
神奈川県立福祉機構
職員募集
のご案内



新しい福祉を
あなたとともに。





地方独立行政法人
神奈川県立福祉機構
Kanagawa Prefectural Welfare Organization

新しい福祉への挑戦

私たちは障害当事者のみなさ んと一緒に進めていきます

福祉機構が
進めていくこと



当事者と一緒に
地域へ

地域生活
移行の実践
> P3



当事者と一緒に
研究

当事者と一緒に
成長

科学的な
福祉の研究
及び実践
> P4

人材育成
> P5



当事者研究の推進

東京大学 先端科学技術研究センターの
熊谷教授と連携し、研究を進めていきます。





神奈川県知事
黒岩 祐治

平成28年7月26日、県立障害者支援施設である津久井やまゆり園において、19名の生命が奪われるという大変痛ましい事件が発生しました。県はこのような事件が二度と繰り返されないよう、県議会と「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めるとともに、障害者のみならず誰もが喜びを実感できる地域共生社会の実現を目指して、神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例を制定しました。

当事者目線の障害福祉を実現するには、福祉が大切にしている「やさしさ」や「思いやり」のある支援がどのような効果をあげたのかを、科学的に分析してデータ化するなど、再現性のある支援への転換が必要です。
また、そうした支援を実践できる人材育成も必須となります。

そこで、新しい障害福祉をつくるフロントランナーとなるべく、地方独立行政法人としてスタートさせたい、と決断するに至りました。そのためには、こうした新しい取組に果敢に挑戦する、あなたの力が必要です。ぜひ一緒に、誰も見たことのない、新しい福祉に取り組みましょう。

地域生活移行の実践

中井やまゆり園の利用者は、畑での農作業やイベント活動により、地域住民や近隣障害サービス事業所との交流等を行い、地域貢献に向けた取組を実施しています。

活動拠点「らっかせい」



秦野駅の近くにある活動拠点では、地域に出ることでしか見ることができない利用者の新たな可能性を見出す活動等をしています。公園清掃や花壇の手入れ、商店街でのリサイクル活動など地元の人とも接しながら過ごしています。

ロマンティック農園



NPO法人が所有する農園を利用させていただき、農園で野菜作りを行っています。今後は、生産量を増やして地域イベントなどで販売していく予定です。

ヤギさんファーム



令和7年には、ヤギを借り受け、利用者がそのヤギを眺めたり、触れたり、エサをやるなど、それぞれの楽しみ方をしていました。

法人が運営する施設

中井やまゆり園

所在地	神奈川県足柄上郡中井町
施設種類	障害者支援施設
開設	昭和47年（平成14年再整備）
職員数	約200名
業務内容	施設入所支援、生活介護、自立訓練、短期入所





科学的な福祉の研究及び実践

福祉を科学する

1 障害福祉分野の科学化

PHASE 1　状態の見える化、支援方法・効果の検証・分析

- 人の心と身体の状態を見える化
- 利用者支援の方法・効果を検証・分析

▼

PHASE 2　支援の確立、他施設への展開

- “再現性のある”当事者目線に立った支援を確立し、他施設へ展開

2 他分野への発展

PHASE 3　他分野への展開＜早期発見できる体制づくり＞

- 本人の状態変化を早期に察知するなど、確立した支援や評価方法を他分野へ展開
- 地域生活に困難を抱える方々を早期発見できる体制づくり

▼

PHASE 4　福祉の諸課題への介入

- 行政（児相・保健師・虐待対応等）、相談支援、教育現場などで実践
- 困難に陥っている人に適切に役割等を担ってもらうことで福祉の諸課題へ介入

新たな価値の創造

- 一人ひとりが役割を実感できる社会へ
- 役割、仲間の効果を数値化することなどによって、新しい価値を創造



当事者研究

PHASE 1

当事者が人生を振り返る



- 当事者の人生を振り返り、困りごとや当時の気持ち、どんな時に困ったのかなどを調べる

PHASE 2

支援者と当事者が一緒に仮説を立てる



- 当事者の困りごとは何か？
- どうして困りごとが起きるのか？
- どうすれば改善するのか？

PHASE 3

支援者と当事者が一緒に仮説を検証する



- 当事者研究で生まれた対策・行動を評価し、効果があったかどうか、うまくいった要因は何かを調べる
- 効果検証のため、心や体の状態や変化を見える化する

熊谷教授とともに当事者研究を推進

神奈川県立福祉機構は、当事者研究のエキスパートとして知られる、熊谷晋一郎教授（東京大学 先端科学技術研究センター）と連携しながら当事者研究を行っていきます。



熊谷晋一郎

東京大学 先端科学技術研究センター教授
当事者研究 分野
附属包摂社会共創機構

人材育成

スペシャリストを目指す

専門力をつくる

基礎力を育む

自己実現

活躍の場



あらゆる分野での活躍

例）ビジネス分野、研究分野、医療分野など

法人内での活躍

研究 ⇄ 支援 ⇄ 相談 ⇄ 組織運営

法人内での異動を通じて、専門的に広める



専門的知識・能力

マネジメント	法人の全体調整、予算や人事、新規事業の企画等を担う
意思決定支援	障害当事者の隠れた意思を読み取り、本人の意向を尊重した支援を行う
社会参加の推進	地域や企業などとのつながりを構築するための取組を行う
異業種交流	他の事業所との協働事業や他分野との交流により、新たな知識を習得し支援の輪を広げる
多職種連携	医師、看護師、栄養士、PT、OTなどとのチーム支援を行う



支援に係る基礎知識・能力（テクニカルスキル）

ICF（国際生活機能分類）を活用した状態・特性の把握



法人職員として身につけるべき基礎力（ヒューマンスキル）

理　念	人間力・倫理観	実 行 力
法人の目的を理解し、職員としての志を育む	困難を克服する力、人としての考え方や職業人として正直で誠実な姿勢を身につける	熱意をもって業務に臨み、自ら考えて新たな支援方法に挑戦する姿勢を育む
歴史・文化	**共 感 力**	
地域の歴史を理解し、暮らしの背景を知るとともに、歴史や文化から学び、未来に活かす姿勢を育む	一緒の活動を通じて互いを理解し、信頼関係をつくる力を身につける	



特徴！

職種間の連携と多様な人材

部門や職種の枠を超えて連携し総合的な力をつける



スキルアップ！

入職してから専門的な知識・能力を身につける



充実した研修とOJT

福祉の仕事が初めてでも大丈夫！



TOPICS　シンポジウム「福祉を科学する」を開催しました！　2025年8月24日

様々な立場の有識者を交えて議論することにより、福祉を科学する方向性を探るためのシンポジウム「福祉を科学する」を開催しました。





アーカイブ動画はこちら

働く職員の声 *Voices*

中井やまゆり園で働いている職員に、日々心掛けていることなどの話を聞きました。

若手職員（福祉職・女性）



Q 普段はどのようなシフト体制で働いていますか？

早番・日勤・遅番・夜勤のシフト制で働いています。シフトごとに役割を分担し、朝食や昼食の食事支援、入浴介助などを行っています。夜勤では、就床支援や夜間対応を担当しています。

Q 休日の過ごし方は？

外に出かけることが多いです。平日が休みとなることも多いので、普段混んでいるような場所でも空いていて過ごしやすいです。



Q 園（寮）内でのコミュニケーションは？

何でも話しあえる関係性ができているので、本当に些細なことでも相談しながら仕事ができています。



Q 利用者さんとの暮らしを共有するなかで大切にしていることは？

利用者さんが何を考えていて何を求めているのかを常に考えています。また、できることに着目して様々なことに取り組み、さらにできることを増やせるような支援を大切にしています。

Q 仕事を通じて自分が成長したなと思うことややりがいは？

困ったときにはSOSを出して周りを頼ること。常に利用者さんにとって何がよいのかを考えられるようになったこと。利用者さんの笑顔やできることが増えたときにやりがいを感じます。

Q 変則勤務の場合、通勤はどのようにしていますか？

職場近くに家を借りて住んでいて、そこから車通勤をしています。周りの職員の中には、宿舎（下記参照）に住んでいる人もいます。

中堅職員（福祉職・男性）



Q 利用者さんと暮らしをともにする中で大切にしていることは？

「見る・見てもらう」「支援する・支援される」関係から抜け出すこと。出来ることが違うだけで、何か活動をするにあたっては、一緒に達成する仲間だと思います。



Q やりがいについて、具体的なエピソードはありますか？

「このバッグ、持ってくれる？」と利用者さんに言われたことがありました。
持ってあげる、自分で持ってもらう。どちらも正解かもしれないし、どちらも間違いかもしれない。持っても持たなくても、一緒にいて安心した、が正解です。
持つことにより利用者さんが感じる安心と不安があり、持たないことにより感じる安心と不安があります。この葛藤や心の動きを「一緒に感じているよ」ということが伝わること、またそれが持続性を持った暮らしであることが大切です。そのことに気付けることは、幸せなことだと感じます。

Q 仕事のやりがいを教えてください。

利用者さんと一緒にいると色々なことに挑戦できることです。一緒にいたからこその出会いや出来事がたくさんあります。そして彼らの心の葛藤を知ることは自分の人生にも大きく役立つことだと感じます。

Q 最近利用者さんとの園外での活動はどこに行った？

普段は秦野駅前にある地域活動拠点の「らっかせい」に行って、公園の清掃活動や公共施設の花壇の手入れをしたり、近くの飲食店で食事をしています。



※園外活動では東京ディズニーランドや新江ノ島水族館にも行きました

Q これから目指す方へのメッセージをお願いします

仕事は知的障害のある方に対して支援をするということが軸にはなりますが、利用者さんと一緒ならみなさんの願いが叶うかもしれない場所だと思います。利用者さんと一緒に社会の課題や地域の抱える問題を解決できると信じています。

家賃補助（住居手当）について

- 職員が借りた住居で、家賃※が16,000円を超える場合に支給！
- 62,000円以上の家賃※の場合は、支給上限額28,500円を支給！

※家賃には管理費・共益費・駐車場代は含まれません

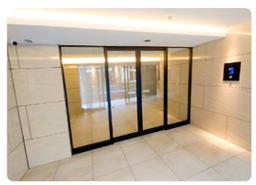
採用初年度の給与額モデル（福祉職）

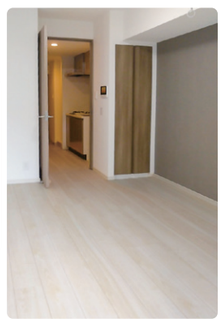
22歳	月額	約33万円	年額	約477万円
35歳	月額	約42万円	年額	約604万円

※令和７年度時点の金額のため変動の可能性があります
※上記は学校卒業後、フルタイムの職務経験を前提とした例であり、職務経験の内容や勤務形態等により金額が異なる場合があります

宿舎について 2か所整備！

①駅近で便利な立地の築浅宿舎（秦野駅徒歩1分）
②通勤時間ほぼなし！
園隣接宿舎（園より徒歩1分）





※単身者向け、
入居期間制限あり、
一部自己負担あり

採用職種の概要と受験資格

職員募集要項はこちらで検索 >> 福祉機構　採用

職 種	主な職務	資 格
福祉職	・障害者支援施設における介護を伴う生活支援業務 ・施設外における日中活動支援業務 ・福祉を変える取組への参画（福祉が大切にしている「やさしさ」や「思いやり」のある支援が、どのような効果をあげたのかを科学的に分析してデータ化する取組）等 ※ 原則、夜勤を含む交代制勤務となります。	年齢要件のみ
事務職	総合事務（例：総務、企画、経理、人事給与、情報関係、地域連携） ※ 障害者支援施設を運営する法人のため、利用者ともコミュニケーションが取れる方を募集します。	